

東通原子力発電所における放射性固体廃棄物の貯蔵状況について

1. 放射性固体廃棄物の保管状況

東通原子力発電所では、点検等により発生した布・紙・ゴム手袋等の放射性固体廃棄物を 200 リットルドラム缶に詰め、固体廃棄物貯蔵所（以下、「貯蔵所」という）（添付図 参照）に保管しております。

放射性固体廃棄物は、貯蔵所の貯蔵容量 18,360 本（ドラム缶相当）に対し、2020 年 10 月末時点における保管数は 14,144 本（ドラム缶相当）となっております。

2. 放射性固体廃棄物の発生状況

放射性固体廃棄物の発生量については、設備の維持点検等により継続的に発生するため、様々な廃棄物低減の取り組みを継続的に実施し、増加をできる限り低く抑えるように努めております。

しかしながら、これまでの発生実績を踏まえると、数年後には保管容量に達する見込みでおります。

3. 今後の対応

廃棄物発生量低減の取り組みを継続して実施するとともに、廃棄物の保管量が固体廃棄物貯蔵所の保管容量に達するまでに、貯蔵容量増強を行うことを検討中であります。

以上

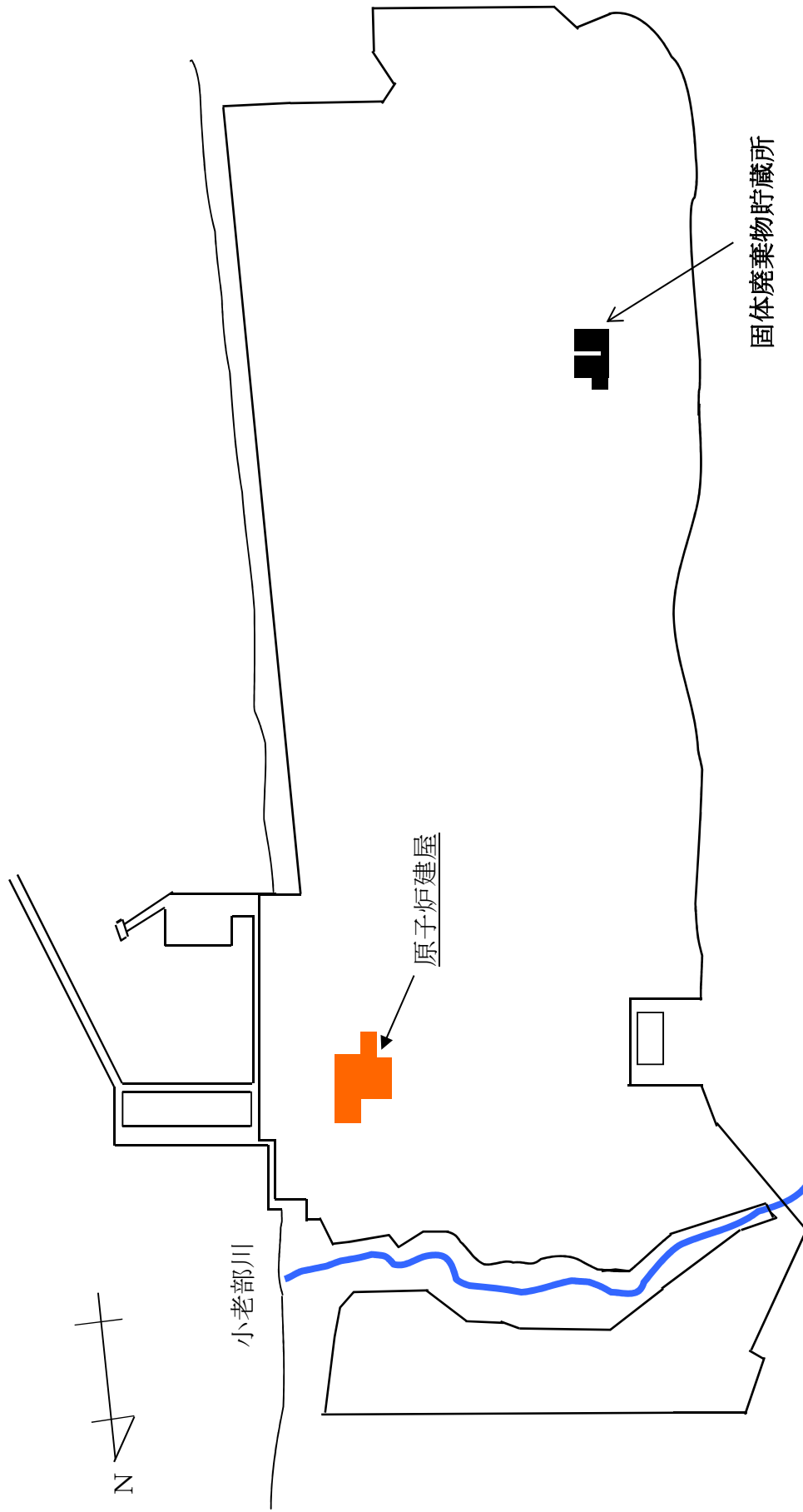


図 東通原子力発電所 固体廃棄物貯蔵所設置場所